

グループホームにこここハウスの概要

- 共同生活援助事業所(介護サービス包括型)
 - * 夜間は連絡体制のみ
- 入居定員4名 現在 男性4名利用中
- 建物 戸建住宅 5LDK
- 居室4室(8畳) 世話人室 リビング(共有スペース)、お風呂、トイレ、洗面所、キッチン共有
- 立地環境 住宅地の一角にあり、すぐ隣には公園がある。歩いて5分の所にコンビニ、スーパーなどがあり、駅までも徒歩15分程度。
- サービス管理責任者 — 岩槻 みきお
 - * 普段は別にある事務所にいて、他に2ヶ所のホームも見ている。
- 世話人 — 杉戸 ひとみ 月～金 6:00～9:00、15:00～20:00
(1日 計8h勤務)
- 生活支援員 — 佐山 けんじ 土・日 8:30～17:30(8h勤務)

19

就労継続支援B型事業所「はなみずき」の概要

事業所所在地の環境	人口は約10万人、人口の約30%は65歳以上の高齢者であり、人口の5%にあたる約5千人が障害者手帳を保持している。 県庁までは自動車1時間、都市圏までは電車1時間程度かかる。 産業は、新都市開発による工場誘致により第二次産業が増加傾向にある。 公共交通機関は地元の鉄道、バスがあるが、自動車が移動手段の中心である。	
地域の社会資源の状況	障害福祉サービス事業は、市内の社会福祉法人やNPO法人により、就労継続支援A型・B型、生活介護、生活訓練、就労移行支援の各事業が整備されている。 相談窓口として、障がい者相談支援センター1ヶ所、特定相談事業所8ヶ所があり、障害者就業・生活支援センターは隣市にある。	
地域の地場産業	自動車産業が盛んな地域であり、部品の製造をはじめとした下請け企業が多い。以前は、家内工業の工場がたくさんあり、職親制度等も利用して障害のある人の雇用がされていたが、最近はほとんどが閉鎖・倒産している会社が増えている。	
事業所の概況	多機能型事業所 就労移行支援事業 定員12名 就労継続支援B型事業 定員20名 現在の利用者は、身体・知的・精神など多様な障害種別の人が利用している。 正さんが利用を予定しているグループホームからはバスで10分(徒歩ならば45分かかる)の距離である。	
職員構成	管理者1名(60代女性) サービス管理責任者1名(春日部一夫:40代男性) 職業指導員3名(40代女性、60代男性、20代女性) 生活支援員2名(30代女性、30代男性) 就労支援員1名(30代女性)	
日課	*平日 9:30～16:00 *土日祝日は休所	
主な作業内容	作業内容	工賃の状況
	カフェ(接客、皿洗い、調理補助等)	時間 200円～400円
	組み立て作業	時間 200円～400円
	施設外就労活動(近所の運送会社での倉庫内作業・袋詰め作業)	時間 400円～580円

18